

育成 ニュース

発行元 (一社)京都手をつなぐ育成会

京都市右京区西京極新明町 38 番地 3

Tel:075-322-1070 Fax:075-322-1071

ホームページ <http://kyotoikuseikai.or.jp/>

メール: jimu@kyotoikuseikai.or.jp

『ふれあい作品展 & 発表会』

雪の中、たくさんのご参加ありがとうございました

令和7年2月8日土曜日、ハートピア京都において『ふれあい作品展 & 発表会』を開催しました。前日からの雪で開催も危ぶまれましたが、なんとか開催することができました。会場準備や展示物の飾り付けなど、昨年とは異なり午前中の限られた時間でしたが、時間内にスムーズに行うことができました。開場間近になると、足元が悪い中にもたくさんの方の参加で会場がいっぱいになりました。



発表会では、京都手をつなぐ育成会の本人達が活動する「よさこい踊り隊」によるソーラン節などの元気の良いパフォーマンスで始まり、上田仁美さんのピアノ演奏や青年学級のつばさ学習会によるハンドベル演奏、知的障害や精神障害のある本人達によるサークル「ピンクチャウビック」によるヒップホップダンスのほか、ご家族関係の

方々にも出演頂き、手品の披露、コールいくせい、男声コーラス、京都吹奏楽団の演奏もあり大変盛り上がりしました。

作品展においては、青年学級から友だちの似顔絵、クリスマスカード、年賀状、クリスマスツリーや、学習会での書初め、キーホルダーなどのほか、お花クラブによるきれいな生け花の展示もありました。美山育成苑から絵画や手芸用品、木工作品の展示・販売もありました。また会員さん、本人や家族の方の絵画、書道、陶芸作品など多様な作品もありました。



出店では、山科工房のコーヒーや西寺育成苑のパン・クッキーなどのほか、伏見工房、西大路工房から本人達の作製した商品の販売がありました。京都市障害者相談員による相談コーナーもあり、盛況のうちに終わることが出来ました。

発表会、作品展、出店などすべての内容を一つの会場内で行うことができたので、一体感があり、参加者が自然と集まることができました。久しぶりにお会いできた会員さん同士のお話も弾み、和やかなひとときを過ごすことができました。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

(副会長 尾高)

ふれあい作品展 & 発表会の報告……………① 美山育成苑研修会の報告……………②・③ 障害者文化芸術国際フェスティバル報告……………③
組織だより……………④ 第2回専門家講座の報告……………⑤ 青年学級だより……………⑥・⑦ 活動計画・相談件数・支部だより……………⑧

『私が死んだら子供は誰が？』 - 美山育成苑研修会の報告 -

令和7年2月24日曜日、ひかり学園において美山育成苑研修会を行いました。

研修会当日、「朝からの雪の中を出かけて転べば大変なので今日の研修会は欠席します」との連絡が数名の方からあり心配しておりましたが、大粒の雪の中でも51名の参加をいただき、ありがとうございました。

育成苑から、①：短期入所の受け入れは？

②：入所費用はどれくらい？ 障害年金でまかなえるのか？

③：施設での24時間の生活状況は？

以上3つの問いかけに対し、たくさんの資料と丁寧な説明をしていただき、40分オーバーの午後4時過ぎに終了いたしました。

②：入所費用は？の問いに対し、「利用者本人の所得」に応じた福祉サービス料、施設利用料（食費・水道光熱費）、嗜好品、衣料品、理美容代、保護者会費等の大まかな説明をしていただきました。

-入所者の障害年金と費用負担の状況-

①Aさん 障害支援区分4

（収入）障害年金 68,000 円＋年金生活者支援給付金 5,310 円＝73,310 円

（費用）施設利用料 42,480 円＋国民健康保険料 1,200 円＋施設協力費 10,000 円
＋保護者会費 800 円＋理美容代 1,900 円＋小口現金 10,000 円＝66,380 円

②Bさん 障害支援区分6

（収入）障害年金 85,000 円＋年金生活者支援給付金 6,638 円＝91,638 円

（費用）施設利用料 44,550 円＋国民健康保険料 1,700 円＋医療費 2,910 円
＋施設協力費 10,000 円＋保護者会費 800 円＋理美容代 2,200 円
＋小口現金 10,000 円＝72,160 円

※育成苑利用者は住民税非課税世帯となるため、福祉サービス利用料の負担はゼロ。

◎障害年金などで、美山育成苑で必要な経費をすべてまかなえます。

手元に残るお金もあります。

藤木理事長▶ このたびは、厳しい寒さの中、社会福祉法人美山育成苑の研修会に大勢の方々にご参加いただきありがとうございました。『私が死んだあと子供はどういう環境に置かれるのだろう』というテーマについて、育成苑から施設長、援助部長、事務長にそれぞれ詳しく説明を受けました。『障害基礎年金内で生活ができる事』、『年中行事として季節毎に色々なイベントがある事』、『誕生日会のお祝い会がある事』等の説明がありました。

現在美山育成苑に入所されているお母様から「入所してから2年数ヶ月ですが、安心して日常生活が暮らせる居場所に定住する事が出来て親としては安堵いたしました」というお話をいただきました。

子供の安心安全な居場所を親の動ける間に見つけるという事が親の安心にもつながります。そしてその為にも本人が親以外に他人を知るという事が大切です。障害児者支援サービスを受けてガイドヘルパーと共に市内散策・映画・イベント・買い物等しながらニコッと笑いあえる人と知り合ってください。

梅原施設長▶ 研修会では小林援助部長から短期入所の受け入れや施設ご利用者の生活状況について、木戸事務長からは施設入所並びに短期利用の費用について説明させていただきました。

ご参加の方からは厳しくも貴重なご意見をいただいたことに感謝申し上げます。今回の研修会に参加していただいた方々に感謝申し上げるとともに、研修会の案内や会場の提供等にご協力いただきました京都手をつなぐ育成会の皆様に厚く御礼申し上げます。

上田会長▶ 美山育成苑から生活やお金のことについて詳しくお話しいただきました。こちらの聞きたいことはほとんどお話しいただいたと思います。また現在利用されている2家族の方からも思いのこもったお話を聞けました。川村元会長が仰ったように「育成会には美山育成苑がある」のです。交通の不便さについては、今後の検討をお願いしました。

(青年学級担当理事 小谷・野村)

障害者の文化芸術国際フェスティバルに参加して

令和7年2月7日(金)～9日(日)標記フェスティバルが、全国手をつなぐ育成会連合会や文化庁などの主催で開催されました。

DAY1の国際フォーラムは、「文化芸術ユニバーサル・ツーリズムの実現を目指して」と題して、劉氏(中華民国智障者家長總會理事長)が、台湾の知的障害者団体の活動を話されました。1992年にスタートし、台湾各地に団体があります。本人の人権問題、後見人制度、自立生活に取り組まれているそうです。佐々木会長も「日本と同じだ」と感想を言われていました。

また、情報を知る権利も大切にされていて、例えば選挙を解かりやすく書いたパンフレットも出されていました。

次に久保顧問が、全国手をつなぐ育成会連合会や前身の全日本手をつなぐ育成会が、昭和27年に発足してからの歴史を話されました。

今の全育連には、権利擁護センター、政策センター、国際委員会、啓発キャラバン隊、web推進委員会、本人活動支援委員会がありますが、特に本人活動支援委員会では、「本人が将来は国の会議に出られるようにしたい」と話されました。

次にユニバーサル・ツーリズムに関しては、障害の子と旅行をして困っている事として、久保氏の子供さんは最重度なので、移動は車で行い、ホテル側に理解がなかったり、食事の配慮がなかったそうです。「物理的な配慮だけでなく、心のバリアフリーも必要」と話されました。

劉氏の子供さんはダウン症で、外国へも何ヵ国か行かれているそうですが、米飯がないとダメで、食事に困ったり、コンサートでは拍手ができない等あるそうです。

ユニバーサル・ツーリズムを成功させるために、久保氏は「心のバリアフリーが欲しい」と話され、劉氏は「障害者を特殊な人と見ないで欲しい」と話されました。

基調講演は、「障害者の文化芸術 台湾と日本を俯瞰して」と題して、林氏(中華民国智障者家長總會 主任)が、両国の文化芸術について話されました。台湾の障害者の芸術活動は、22年前から芸術祭があり、2024年には2000名を超す参加者があったそうです。日本の全国障害者芸術文化祭も見ているが、日本の障害者芸術活動には自由度があると感じられたそうです。日本の方が、台湾より制度が整っているので学びたいが「文化芸術には多くの人の賛同が必要と考えている」と話されました。

(会長 上田)

組織だより 令和7年3月

★ 近畿手をつなぐ育成会連絡協議会 令和6年度第6回役員会

2月3日(月)、リモートで開催されました。京都手をつなぐ育成会が担当する「令和7年度近畿リーダー養成研修会」が令和8年2月5日(木)に決定したことを伝えました。令和7年11月29日(土)には近畿知的障害者福祉大会が兵庫県で開催されます。

★ 京都障害者親の会協議会 令和6年度第5回役員会

2月14日(金)に開催されました。令和7年事業予定(案)や役員・リーダー等研修について議論しました。午後からは、京都府健康福祉部障害者支援課長の岩田様から「障害児者福祉の動向について」と、京都市保健福祉局障害保健福祉推進室企画・社会参加推進課長の遠藤様から「京都市の障害児者福祉の動向について」を話していただきました。

府も市も新規事業を立ち上げておられ、障害者団体が要望していくことの大切さも感じました。

★ 令和6年度 京都市障害者社会参加推進協議会

2月28日(金)に開催されました。参加者は主に身体に障害のある方と、精神に障害のある方と、育成会です。議題は「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法について～その後の国の動向及び京都市の動向・各団体の取り組み～」と「障害者差別解消法について～施行以降の動向と具体的事例～」と令和7年度に開催される社会参加に関するイベントの情報について話し合われました。京都市では、聴覚障害のある方の聞こえを補助する「ヒアリンググループ」の設置を庁内で進めておられるそうです。補聴器のような器械で、私も試してみましたが、高齢者の方にも役に立つと思いました。

また、「わかりやすく伝えるための手引き」を活用した資料の作成もされているようですが、知的障害者向けにもっと簡単にされた資料の作成を育成会からお願いしました。

また社会参加に関するイベントとしては、10月8日(水)～10日(金)に全国手をつなぐ育成会連合会主催で、大阪万博会場で作品展を開催します。障害者団体共通の想いとしては、それぞれの障害の特性を障害のない人達に知ってほしい事でした。

★ 義援金の報告 -皆様のご協力ありがとうございました

2月末を期限として皆様からお寄せいただいた義援金は以下のとおりです。皆様の温かいお気持ちをいただき、3月初めに全育連に振り込みました。

○能登半島地震及び豪雨被害義援金 16,207円

○昨年6月から7月の秋田県・山形県豪雨被害義援金 26,375円

★ 育成会フォーラム及び行政説明会が動画配信されます

例年3月に開催されている全育連の「育成会フォーラム及び行政説明会」が、3月下旬から5月18日までの予定で、専用サイトによるオンライン配信で実施されます。

育成会フォーラムでは「知的・発達障害のある人の住まいと暮らし」をテーマに、ポイント解説と各地の事例紹介、パネルディスカッションが行われ、行政説明会では成年後見制度の見直し状況など国の施策の最新の動きが説明される予定です。

動画視聴をご希望の方は、事務局までご連絡ください。全育連から動画配信のURLが送られてきましたらご案内します。

(事務局 電話：075-322-1070 メールアドレス：jimu@kyotoikuseikai.or.jp)

お困りごとはありませんか？ 一人で悩まずに、お気軽にご相談ください。

京都手をつなぐ育成会は、知的障害のある本人が地域で安心して豊かに暮らせることを目的に活動しています。 お知り合いの方にも、ぜひお誘いください。

●相談事業（療育・施設・就労・法律など）＊無料弁護士相談もあります

●本人の休日・余暇活動場所に（青年学級）

●就労支援 ●グループホーム ●ライフサポート（居宅・生活援助・権利擁護）

●福祉制度などについて研修 ●ニュースを購読したい ●行政へ要望がある

入会のお申し込みは、本部事務局まで。 <http://kyotoikuseikai.or.jp/>

事務局：京都市右京区西京極新明町 38 番地 3 TEL：075(322)1070

第2回専門家による講座の報告



『はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプランについて』

令和7年1月28日(火) 京都市保健福祉局障害保健福祉推進室企画・社会参加推進課長の遠藤 洋一(えんどう よういち)様をお迎えし、標記講座を行いました。

京都市障害者施策推進計画『はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン』は、「障害のある人もない人も全ての人が違いを認め合い、支え合うまちづくりを推進する」という基本方針に基づいて策定されています。障害のある人、高齢者、子ども、支援の必要なあらゆる人に対して様々な取り組みがなされており、施策目標が5つあげられています。



- 1, お互いに認め合い、相互に人格と個性を尊重するまちづくり
- 2, 自らの決定に基づき地域生活ができる支援の推進
- 3, 安心安全に暮らすことができる生活環境の整備
- 4, 社会のあらゆる活動に参加できるまちづくり
- 5, 障害や疾病等で支援が必要な子どもに対する福祉と教育の充実

この中で知的障害のある人に関連する項目が多い施策目標2についてご説明くださいました。

相談支援、福祉サービス、すまい・くらし、関係機関との連携、重度障害のある人の支援、地域移行、人材の確保・育成、と生活全体を網羅されています。

新しい取り組みとして、生活介護事業所やグループホームの設置促進、地域での生活・地域移行のためのコーディネーター配置などがあげられています。

また強度行動障害の人のグループホーム等の新規受け入れ事業所への支援が手厚くなります。

人材の確保・育成については採用や定着支援に向けた新たな取り組みがすすめられています。

遠藤様は、施策は毎年見直しがあるので、みなさんのご意見をいただいてより良い施策をすすめていきます。と話されました。

参加者からは、「わかりやすく説明して下さり、施策のことがよくわかった」と感想がありました。

(相談部会 日根野、杉本)



©エリック＝カール

〜〜〜2月青年学級だより〜〜〜



「はらぺこあおむし」と神経衰弱ゲーム

2月の日曜教室は「音楽」です。毎回、小島先生と橋本尚子先生が音楽の楽しさを感じとれるよう、趣向をこらしたメニューを考えてくださっています。

学習ではまず「はらぺこあおむし」の歌をみんなで唄い、歌のなかで出てくる食べ物などを頭に入れておきます。ところで、みなさんは、「はらぺこあおむし」という歌をご存じですか？私は知りませんでした。そのことを家で話すと、「えっ？知らない？」と、いつものように馬鹿にされてしまいました。家族のものが指さす方を見るとパジャマ、枕カバーなど、(私のものではありませんが)家中のあちこちに「はらぺこあおむし」がいるのです。誰でも知っている超有名曲だったんですね。気を取り直して次に進みます。

歌に出てくる食べ物などのカードを裏向けにし、神経衰弱ゲームをしました。順番にカードをめくり、また裏返していくうち、だんだんその絵の場所を覚えられるようになり、次から次へとカードが取られていきます。最高はなんと12枚。第一部は歌と絵を結び付けた見事な演出でした。



第二部は小島先生の伴奏で皆が大好きな「はなはさく」「ピリッ」「にじ」などの歌を歌いました。

この日曜教室には、佐竹次子さんと歌門美気(かもんみき)さんのお二人が見学に来てくださり、みんなと一緒に歌を歌い、神経衰弱を楽しみました。そしてなんとお二人とも青年学級に登録してくださいました。初めてあった人とも仲良くなれる、音楽の強い力を感じました。これからも青年学級の魅力を発信し、仲間を増やしていきたいと思いました。

はらぺこあおむし 原作/エリック＝カール 訳詞/もり ひさし

「おや はっぱの うえに ちいちゃな たまご」
 おつきさまが そらから みて いいました
 おひさまが のぼって あたたかい 日ようびの あさ
 ぼん と たまごから あおむしが うまれました
 ちいほけな あおむし あおむしは たべるものを さがしはじめました
 そして月ようび 月ようび りんごを ひとつ たべました
 それでも やっぱり おなかは ペっこペこ
 (中略 ここから、あおむしは、手あたり次第食べ続けます。そして・・・)
 ちっぽけだった あおむしが こんなに おおきく ふとっちょに
 まもなく あおむしは さなぎに なって なんにちも ねむりました
 それから さなぎの かわを めいで でてくるのです
 「あっ ちょうちょ！」あおむしが
 きれいな ちょうちょに なりました！



丸太でコマ作りをしました

3月の青年学級は、2日にコマ作り、15日～16日に宿泊学習、23日に終業式と盛りだくさんの予定です。コマ作りのおたよりは今月に報告、宿泊学習の報告は4月にお知らせします。

おたのしみに☆

- ① コマ作りの工程は、杭状の丸太をのこぎりを使って3センチの長さに切ることからはじまります。のこぎりであまく切るコツは、力を抜いて真っすぐ前後に動かすことですが、これがなかなか難しく、どうしても歯が左右にずれてしまいます。少しでもずれると木が斜めになりコマになりません。指導の井上、大石両先生から手直しが指示されます。何度もやり直し、時間のかかる人もいましたが、57名の参加者全員が切ることができました
- ② ①で作った木を紙やすりで磨き、木の凸凹を直します。これも大切な工程ですが、これはみんな得意なのか丁寧に仕上げていました
- ③ 次に最も重要な工程の穴あけです。中心から少しでもずれるとうまく回りません。電気ドリルの先端を印に合わせ、スイッチオン。見事に穴があきました
- ④ この穴に心棒を通し、心棒の先端を丸く削ります
- ⑤ 心棒と穴の間にボンドをつけ、しっかり固定します。中には心棒を通す前にボンドをつけてしまった人もいましたが、これはお愛嬌ということで
- ⑥ 最後にマジックで思い思いの色をつけて完成です。

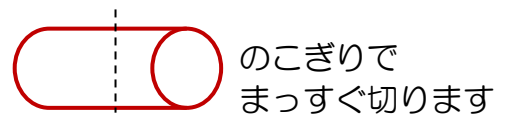
今回の日曜教室で参加者は、ものづくりの楽しさを十分に味わうことができたと思います。指導の井上、大石両先生は、温かく、粘り強く、時には厳しく、個々の力でやり抜くことを徹底されました。一方で、けがのないよう、手作りの安全器具も用意していただくなど、安全面にも最新の注意を払っていただきました。おかげで「これぞ青年学級」という時間を持てたと思いました。50年を超え1276回目を迎えた伝統の力をずしりと感じました。

(ひかり学園 植田)



☆ たのしいコマづくり ☆

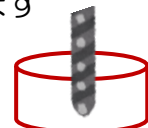
- ① 丸太を3cmで切ります



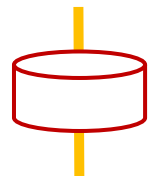
- ② 紙やすりでみがきます



- ③ 中心に印(しるし)をつけて穴をあけます

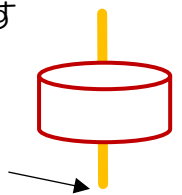


- ④ 穴に軸を通します



- ⑤ 軸の先を丸くします

しっかり丸くすると
コマが
回りやすくなります



- ⑥ カラーマジックで
色ぬり・絵を描きます

できあがり☆



賛助会員にお申し込み頂き心より感謝申し上げます（敬称略）

植田 政雄

植田 朋子

植田 善博



令和7年度 障害者雇用支援月間における

-- 絵画&写真コンテスト作品大募集! --

募集期間：令和7年3月1日(土)～6月16日(月)

※当日消印有効

「絵画コンテスト 働くすがた～今そして未来～」

「写真コンテスト 職場で輝く障害者～今その瞬間～」

▶独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED)の主催で障害のある方々が描いた絵画やその働いている姿を撮影した写真を募集し、ポスターへの使用や展覧会の開催を行います。

▶詳しくは、 JEED 絵画写真で検索、

「募集要項」をご覧ください。

募集に必要な書類も掲載されています。



【無料電話・メール相談等本部受付件数】

≪2月 相談件数≫

療育6件・施設2件・就労1件 合計9件

弁護士法律相談 2月20日(木)2件

法律相談(無料) 9:30～12:30

4月17日(木)担当弁護士 未定

当番の相談員もいます。お気軽にお越しください。

相談会場：京都手をつなぐ育成会

(右京区西京極新明町 38-3)



【支部だより】

東部 3/28 「おしゃべりカフェ」(山科区社協)

【令和7年4月 活動計画】

4/5 役員例会

4/6 青年学級(始業式)

4/10 コールいくせい練習

4/13 よさこい踊り隊

4/15 文化委員会

4/16 支部長会

4/17 法律相談

4/20 青年学級(防災学習)

4/24 コールいくせい練習



【支部総会のお知らせ】

北部支部

北区 4/24(木) かごの屋下鴨店

左京区 5/23(金) ひかり学園

中部支部(上京区・中京区・下京区)

4/24(木) みぶ福祉会館4階

東部支部(山科区・東山区)

4/22(火) やすらぎふれあい館

西部支部

南区 4/29(火・祝) 南社協ボランティアセンター

右京区 4/30(水) 育成会事務所3階

西京区 5/8(木) 育成会事務所3階

伏見支部

4/30(水) 伏見区社会福祉協議会

知的障がい・
発達障がい、
ダウン症、
てんかんの有る方、
ご家族に



病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…



このようなお困り事に心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

 ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
【2020年1月作成 19-TC06633】

0120-322-150

平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

障がいのある方とそのご家族へ



あんしん保険

・最高日額1万円
・個人賠償責任補償
・弁護士費用補償
・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ



こども傷害保険

・入院・通院を日額保障
・個人賠償責任補償
・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

株式会社 京都インシュアランス

〒604-8141 京都市中京区東山町通高倉西入泉正寺町334日昇ビル2階
京都フィナンシャルパーク内
TEL:075-253-6848 FAX:075-253-6846 <https://www.kyoto-insurance.com/>